

授業科目名 <英訳>	経営調査 Management Research				担当者所属・ 職名・氏名	経営管理大学院 特別准教授 野沢 誠治					
配当 学年	1.2	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	土2,3	授業 形態	講義・演習	使用 言語	日本語
科目区分	専門科目		指定プログラム								
学期	2・4		他研究科聴講	可	神戸大学との相互履修		否				
[授業の概要・目的]											
<p>企業経営についての調査分析は、数値データ、メディアデータ、インタビューデータなどの多様なデータを用いて、幅広く様々な方法にて行われている。そこで、本科目では、調査の基本的な考え方や方法について実習をまじえて学習する。特に、定量調査及び定量データによる統計分析を中心に扱う。</p>											
[到達目標]											
<p>履修者は、自ら定量調査を企画し、そこから得られるデータを分析し、適切に解釈することができる。具体的には、課題の設定、課題に適切な調査の設計、データと収集方法の決定、標本設計、実査、データ分析、さらに結果の解釈や解決策の導出に結び付けるプロセスや方法について理解できる。</p>											
[授業計画と内容]											
<p>調査プロセス全体を把握することからはじめ、個々の過程を詳細に説明する。その際、一方向的な講義による理解ではなく、学んだことを実践に活かせる応用能力や本当の意味での理解に繋げるために、SPSSを使ったアサインメントやケース分析を盛り込んで進める。最後に、学んだ知識及びスキルを総動員して最終レポートをまとめる。</p>											
<p>授業の予定</p> <p>第1回、第2回：オリエンテーション / 調査プロセス / 調査課題の設定と二次データの収集と分析</p> <p>第3回、第4回：調査設計 / 一次データの収集 / 定性調査の方法 / 定量調査の方法</p> <p>第5回、第6回：定量調査～調査票の作成 / 定量調査～標本設計と実査</p> <p>第7回、第8回：定量調査～データの集計、検定 / 実査</p> <p>第9回、第10回：定量調査～データの分析</p> <p>第11回、第12回：ケース～サンライフ(株)</p> <p>第13回、第14回：まとめ</p> <p>上記は予定。断りなく変更する可能性がある。</p>											
----- 経営調査(2)へ続く -----											

経営調査(2)

【履修要件】

表計算ソフト(エクセル)やワープロソフト(ワード等)を使えること。

【成績評価の方法・観点及び達成度】

授業参加と貢献20%、数回のレポート提出50%、最終レポート30%で評価する。

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

(参考書)

田尾雅夫・若林直樹共編 『組織調査ガイドブック』(有斐閣)

畠慎一郎・田中多恵子 『SPSS超入門』(東京図書)

【授業外学習(予習・復習)等】

授業の進度に合わせて出される課題が、学んだことの復習や応用を養うために重要である。必ず指定の時間に指定された形で提出すること。

(その他(オフィスアワー等))

電子メールによる相談は随時受け付ける(e-mail: snozawa@gsm.kyoto-u.ac.jp)

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。